

研修プログラム例（案）の変更箇所

～ 防災リーダーの役割・住民（構成員）の自助意識を高めるには ～

- ・ テーマ「防災リーダーの役割とは」とテーマ「住民（構成員）の自助意識を高めるには」を一連のプログラムとして統合することとし、テーマで重複している内容（A）は統合し、全体で3単元に再構成した。
- ・ 1単元60分で学べる内容にするため最低限必要と考えられる知識の習得に絞った内容とした。（大項目、中項目の削除）

旧

新

～ 防災リーダーの役割とは ～

ワークショップ・演習可

単元	単元の学習項目 （大項目）	単元の学習項目 （中項目）	各単元の学習内容 （学習項目の概要）	所要（分）		備考
				詳細	計	
1 限目	地域の災害発生のおそれと自主防災活動の必要性	1	わがまち（地域）の災害発生のおそれ<C3>	10	80	A 統合 防災マップ等を活用し、地域に生じる被害をイメージ
		2	わがまち（地域）の災害発生のおそれ<C3>	20		
		3	今後発生が懸念される主な大規模災害<C17>	10		
	自主防災組織を理解する<B2>	1	自主防災活動の必要性<C4>	10	20	削減
		2	自主防災組織の役割等<C5>	20		
		3	地域をとりまく団体等との連携<C6>	10		
2 限目	地域の防災リーダーの役割を理解する<B3>	1	地域の防災リーダーの役割<C8>	15	25	削減
		2	仲間を増やす<C10>	25		
		3	性別にとらわれず地域防災に互いに協力して取り組む<C11>	10		
	地域を理解する<B1>	1	多様な人達と共に生きる<C1>	10	10	削減
		2	地域づくりと防災<C2>	10		
		3	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連帯した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	10		

～ 住民（構成員）の自助意識を高めるには ～

単元	単元の学習項目 （大項目）	単元の学習項目 （中項目）	各単元の学習内容 （学習項目の概要）	所要（分）		備考
				詳細	計	
1 限目	自助の重要性と災害への備え	1	わがまち（地域）の災害発生のおそれ<C3>	10	70	A 統合 被害想定資料等を用いて、地域に生じる被害をイメージ
		2	わがまち（地域）の災害発生のおそれ<C3>	10		
		3	事前の備え<C21>	50		
2 限目	被害を最小限とするための取り組みと地域に対する防災知識の普及	1	わが家の安全対策<C22>	20	30	削減 チェックリストを用いて、建物の耐震性を確認
		2	わが家の安全対策<C22>	30		
	住民の防災に関する意識、知識を高める<B8>	1	住民の防災意識の向上<C24>	5	15	削減 チェックリストを用いて、我が家の防災対策状況を確認
		2	住民への防災知識の普及<C25>	15		

～ 災害から住民の命を守るには ～

- ・ テーマ「防災リーダーの役割・住民（構成員）の自助意識を高めるには」の1限目と重複している学習内容（㉠）は削除し、構成を見直した。
- ・ 「新」の2限目2-2の中項目「要配慮者の地域ぐるみでの支援体制」については、地域で特に関心を持って取り組んでいただく内容として、より分かりやすく理解していただけるよう、「ワークショップ・演習可」に変更し、2限目1-1の中項目「住民の安否や地域の被害状況等の情報等の収集・伝達」は座学とした。
- ・ 1単元を60分として時間配分を見直した。

旧

新

ワークショップ・演習可

単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
				詳細	計	
1限目 土砂災害発生 の危険性と避難	1 地域を理解する(B1)	1 わがまち(地域)の災害発生のおそれ(C3)	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所等の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。	10	10	㉠ 被害想定結果やハザードマップ等を用いて、地域に及ぼされる被害をイメージ
		2 わがまち(地域)の災害発生のおそれ(C3)	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	15		
	2 発災の直前・直後に命を守る(B14)	1 災害時にとるべき行動(全般)(C33)	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を過した形での行動・対応の流れ、行動する上で注意すべきことや配慮すべきことなどを学ぶ。	15	40	防災マップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。
		2 安全な避難行動(C35)	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	40		
2限目 避難に関する 情報の理解と 避難体制の確保	1 発災の直前・直後に命を守る(B14)	1 避難に関する情報の収集(C34)	気象に関する情報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	30	20	どのような状況になったら避難判断をし、どのような対応をするか整理。
		2 住民の安否や地域の被害状況等の情報等の収集・伝達(C36)	地域の災害対応に必要な情報の収集・伝達方法について学ぶとともに、情報の収集・伝達に必要なスキルを身につける。	20		
	2 わがまち(地域)の防災体制をつくる(B11)	1 地域の情報収集・伝達(C27)	災害時に地域で収集・伝達すべき情報の種類や内容、災害時における課題、体制づくりの必要性について学ぶ。	15	15	要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成、実行性・実効性を高めるための訓練の方法について学ぶ。(避難行動要支援者への避難支援も含む。)
		2 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制(C29)	要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成、実行性・実効性を高めるための訓練の方法について学ぶ。(避難行動要支援者への避難支援も含む。)	15		
	3 住民の防災に関する意識、知識を高める(B9)	1 住民の防災意識の向上(C24)	過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	5	5	

単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	所要(分)		備考
			詳細	計	
1限目 災害発生時の危険性と避難	1 発災の直前・直後に命を守る(B14)	1 災害時にとるべき行動(全般)(C33)	5	60	
		2 安全な避難行動(C35)	25		
		3 避難に関する情報の収集(C34)	30		
2限目 被災者最小限と 地域ぐるみの 防災体制の確保 に関する防災知識の普及	1 発災の直前・直後に命を守る(B14)	1 住民の安否や地域の被害状況等の情報等の収集・伝達(C36)	15	15	座学
		2 地域の情報収集・伝達(C27)	10		
	2 わがまち(地域)の防災体制をつくる(B11)	1 地域の情報収集・伝達(C27)	10	30	ワークショップ・演習可
		2 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制(C29)	30		
3 住民の防災に関する意識、知識を高める(B9)	1 住民の防災意識の向上(C24)	1 住民の防災意識の向上(C24)	5	5	

～ 避難所の運営を円滑に進めるには ～

- 1限目が座学のみであったため、「新」の1限目2-2の中項目「住民の健康を維持するための活動」をワークショップ・演習可とし、考えながら学べるようにした。
- 1単元を60分として時間配分を見直した。

旧

新

ワークショップ・演習可

単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
				詳細	計	
1限目 避難所開設・運営の流れと発生する課題	1	1 発災の直前・直後に命を守る(B14)	1 災害時にとるべき行動(全般)〈C33〉	15	70	
		2 安心・安全に避難生活を送る(B15)	1 避難所の開設・運営〈C40〉	30		
			2 住民の健康を維持するための活動〈C44〉	15		
			3 災害ボランティアの受入等〈C47〉	10		
2限目 避難生活を支える運営体制づくり	1	わがまち(地域)の防災体制をつくる(B11)	1 地域が中心となった避難所運営体制〈C28〉	30	70	適切な避難所運営のためにどのような準備をしておけばよいか検討
			2 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制〈C29〉	20		
			3 災害ボランティアの受入体制等〈C30〉	20		

単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
				詳細	計	
1限目 避難所開設・運営の流れと発生する課題	1	1 発災の直前・直後に命を守る(B14)	1 災害時にとるべき行動(全般)〈C33〉	5	60	
		2 安心・安全に避難生活を送る(B15)	1 避難所の開設・運営〈C40〉	20		
			2 住民の健康を維持するための活動〈C44〉	30		ワークショップ・演習可
			3 災害ボランティアの受入等〈C47〉	5		
2限目 避難生活を支える運営体制づくり	1	わがまち(地域)の防災体制をつくる(B11)	1 地域が中心となった避難所運営体制〈C28〉	40	60	
			2 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制〈C29〉	10		
			3 災害ボランティアの受入体制等〈C30〉	10		